

学力かくにんプリント・2年3学き 国語①

なまえ

点

⑤	③	①
	④	②

- ⑤ 空がはれる。
- ④ こんしゅうのニュース。
- ③ じかんをまもる。
- ② あかるい光。
- ① おやつをたべる。
- ② つぎの——のかん字をかきましよう。
(へはおくりがなも書きましよう。)

(5点×5)

⑤	③	①
	④	②

- ⑤ 数を数える。
- ④ 半分にする。
- ③ 外であそぶ。
- ② 思ったことをつたえる。
- ① ちゅういぶかく聞く。
- ① つぎの——のよみがなをかきましよう。
(5点×5)

(5点×5)

3

話がつながるよう「□」の中はなをうつつを
書きましよう。
(10点×5)

ちよつとたべて、それからまちのネズミは言いました。
「ねえ、こんどはぜひ、ぼくのところへきてください。まちにはもっといろいろなたべものがありますから。」
「いったいどんな、たべものですか。」
「まあとにかく、きてみてください。」

つぎにおかしをたべようとしたときです。ボタン。ドアがあきました。また人げんがあらわれたのです。二ひきのネズミはふたたびかべのすきまへにげこみました。

いなかのネズミはつかれてしまいました。「ぼくは、ここにあるようなごちそうをたべられなくても、のんびりしたいなかのほうがいいな。」と、まちのネズミに言いました。

チーズをたべようとしたときです。ボタン。とつぜん大きな音がして、ドアがあきました。人げんです。二ひきのネズミはあわててかべのすきまへにげこみました。

しばらくすると、にんげんはへやから出ていきました。

「やっとじゃまがきえた。さあ、いただきます。」二ひきはチーズをたべました。いなかのネズミは人げんがこわくてチーズのあじがよくわかりませんでした。

いなかのネズミがまちのネズミを、じぶんのいえにしようたいしました。野はらにはえているはっぱをまちのネズミにたくさんごちそうしました。

「おいしいでしょう。さあ、どんどんたべてください。いなかのネズミは、まちのネズミが気に入ってくれるとおもってすすめました。」

そこでいなかのネズミはまちのネズミのいえへあそびにいきました。こそこそあるくまちのネズミのあとについていくと、どうでしょう。

チーズ、はちみつ、たくさんのおかし。いなかのネズミが見たこともないごちそうがいっぱいです。